



B BETHEL 通信

2019年5月号 (第190号)

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 Tel.089-925-5000

ホームページ <http://www.bethel.or.jp/>

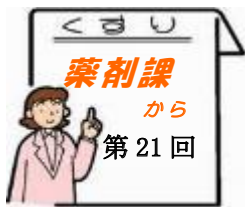
ふるさと

毎年3月の半ばにボランティア総会が開かれます。年度末の会計報告やそれぞれの部署での活動報告、ボランティアさんたちそれぞれに感想などを語っていただいた後、いつも参加者全員で千昌夫の「北国の春」を歌います。この歌は2011年東日本大震災のあとテレビでたくさん聞きました。「しらかば 青空 南風 こぶし咲くあの丘 北国のああ北国の春・・・あの故郷へ帰ろかな 帰ろかな～♪」のあの歌です。被災後、いまだに故郷に帰れない方たちに思いを馳せて、あの年以降みんなでこれを歌っています。今年はまだ一つ「うさぎ追いしかの山～♪」の「ふるさと」も歌いました。3階病棟の「歌の会」や4階病棟「お茶会」の席で、患者さまたちが時に涙を流しながらこの歌を歌っておられる姿を見かけます。

今の日本には 昔のようなのどかな里山、歌われているような「ふるさと」は少なくなっているかもしれません。けれども、自分が生まれ育った土地、親兄弟や友人親しい人たちが近くにいる場所、そんな「ふるさと」は誰にでもあります。その場所が、以前とすっかり違ってしまっても、自分の心の中の「ふるさと」は昔のまま残っています。病棟で患者さまたちとお話していると、子供の頃の楽しかった思い出や、苦しかったまた悲しかった経験を語ってくださいます。一つ一つがその時の「ふるさと」の思い出なのでしょう。

「いつの日にか帰らん～♪」と歌ったふるさとはもうなくなってしまうても、私たちがいつか帰っていく場所には、懐かしい人たちがいて待っていてくれる。そこに行けば自分のことをすべて許し受け入れてもらえる。人生の旅を歩んでいる私たちが、最後に帰っていくところは きっとそんな場所なのだと思います。

(ボランティアコーディネーター 森 菊子)



ポリファーマシーとは何か ～お薬を上手に減らしましょう～

「ポリファーマシー」という言葉を耳にされたことはありますか？最近の医療の問題として頻繁に取り上げられています。また、メディア等でも話題となっています。今回はこのポリファーマシーについて紹介します。



1. ポリファーマシーとは

「Poly (多くの)」+「Pharmacy (調剤)」で多くの薬ということですが、単に薬剤の数が多いことではなく、薬剤が多いために薬物有害事象につながる状態や飲み間違い、残薬の発生につながる問題のことをいいます。ですが、何剤からポリファーマシーとするかについては、厳密な定義はありません。

注) 薬物有害事象とは、薬との因果関係がはっきりしないものを含め、薬を投与された患者さんに生じる好ましくない医療上のあらゆる出来事

2. ポリファーマシーの問題点について

日本老年医学会による「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」では、ポリファーマシーの問題点として、薬剤費の増大や患者の服用に関するQOL (生活の質) の問題、薬物相互作用、処方・調剤の誤りや飲み忘れ・飲み間違いの発生率増大に関連した薬物有害事象の増加を指摘しています。残薬に関しては、厚生労働省がまとめた75歳以上の患者の薬剤費から推計すると残薬の年総額は475億円、専門家の分析によると1,000億円以上にまでのぼると言われています。

3. ポリファーマシーの解決

「多すぎる薬は減らす」ことが大事ですが、「薬を使わなくていい」ということではありません。処方を行う医師、患者さんと接する機会の多い看護師、薬の専門家としての薬剤師などの医療スタッフが、それぞれの立場から得られた患者さんの情報を共有し、医薬品の適正使用を心がけていくことが必要です。患者さん自身も、現在の症状をかかりつけの医師に伝え、薬の量と数についてよく相談していただくことが大切です。

日本老年医学会が、一般の方々に高齢者の薬物療法に関する基本的知識を理解していただくために、パンフレット「多すぎる薬と副作用」作成し無償配布しています。

こうした情報を参考に今一度、薬との付き合い方について見直してみませんか？

ポリファーマシーの解決には医療スタッフ、患者さん、国が一体となって取り組んでいくことが大切です。

(参考文献)

- 1) 医政安発0529第1号薬生安発0529第1号高齢者の医薬品適正使用の指針 (総論編) について (平成30年5月29日)
- 2) 高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015 (日本老年医学会)
- 3) 調剤と情報 2017年1月号 [雑誌] 特集:ポリファーマシーを考える

外来からのお知らせ

◎豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）外来診療日

5月8日（水）、5月22日（水）

◎多田 聡 医師（神経内科）外来診療日

5月16日（木）、5月30日（木）



ボランティア総会

3月16日（土）ボランティア総会が行われました。それぞれの部署での活動紹介がありました。ベテル全ての働きに、ボランティアさんの活動は、大きな力になっています。改めて皆様の活動に感謝いたします。



ベテルの桜
2019.4.2



新 人 紹 介

おぐら てつや
小 掠 哲 哉



配属部署：施設管理課
職 種：夜警員
出 身 地：松山市
星 座：おひつじ座
趣 味：京の寺社巡りと京の街歩き
好きな物：NHK 土曜時代劇
尊敬する人：源融（みなもとのとおる）
源氏物語のモデル
好きな言葉：袖振り合うも多生の縁
抱 負：身体が動く限り続けます。



夜桜を

明日又賞でん
車椅子
（平岡 恵風）

満開の

無風の枝に
鳥一羽

（節子）

ベ
テ
ル
句
会

投句箱は受付・各病棟・5階リハビリ室に設置しています。皆様のご投句をお待ちしております。
『ベテル通信』についてのご意見やご要望をお待ちしております。